

中学生の「税についての作文」

大川税務署長賞

「暮らしを支える税金」

大川市立大川桐英中学校

三年 中 島 結 月

私は以前学校で、税金についての授業を受けました。そこで「税金が無い世界」を題材としたビデオを観ました。その中で税金が無いとどうなるかを学びました。

まず、税金が無い世界では、道路はポコポコで、街灯もなため、道が暗くてとても危険だと思いました。私は習い事に行くとき、母に車で送ってもらいます。道路はいつも平らで、へこみやこわれた所など、危険な場所は、工事が行われているのをよく見かけます。

また、暗い道があれば街灯がつけられ、明るくなります。私は部活で暗い時間に帰ることがあります。その時、街灯があるだけでとても安心して帰ることができます。でも、税金が無い世界では、道が真っすぐに直されることも、道が明るくなることもないと考えると、どこかへ移動するだけでも危険が生まれ、安心が得られない状況にあると思いました。

また、その世界で家に泥棒が入り、物を盗まれた人がいました。私は犯罪が起きたら警察に連絡すればすぐに来てくれるというのが意識にあります。しかし、税金が無い世界にはそれが無かったです。被害者も、それを目撃した人たちも、

誰一人として警察を呼ぼうとしなかったのです。なぜなら、警察なんて呼んだらとても高いお金がかかるからです。余程のお金持ちの人しか呼べないのです。私はそんなの犯罪の温床になるし、警察が守ってくれないなら、誰にも頼れないし、常におびえて暮らさなくてはならないと思いました。また、火事や事故が起きた時も同じです。消防車も救急車もお金がかかるから呼べません。つまり、救える命もお金がなければ救えないということになりかねません。そのお金を税金で補っているのです。

そして、税金が無くなった世界では、学校に行っていないかったり、小学生ぐらいの子供たちが日中に外で遊んでいたりました。本来は中学生は中学校、小学生は小学校で勉強している時間です。しかし、税金がないと学校に行くにはとても高いお金が必要になり、学校に行きたくても行けない子供たちがたくさんでしてしまうのです。私は毎日学校へ行き、教科書を使って勉強しているけれど、税金がないとそれら全てのお金を負担しなくてはなりません。学校に行けなくなると思っています。私が今まで当たり前にしていたことは、税金によって成り立っていたと知りました。

私は今まで買い物をするとき、税金がかかるのは嫌だなと思っていました。しかし、「税金が無い世界」を見て学び、税金は自分たちの生活を安全に、そしてより豊かにするためにものだと知りました。また、自分たちの払った税金で救える命を救うことができると知りました。だから私はこれから税金を払うときは、自分たちの暮らしを支えるために、誰かの命を救うためにと払うようにしていきたいです。